

Alan V. Deardorff, TERMS of TRADE
glossary of International Economics

国際領域総括上席研究官
増田 敏明

本書は、ミシガン大学のデイアドルフ教授が著した最新の貿易用語集である。

デイアドルフ教授は、国際貿易理論の研究者で、FTAによる世界経済の統合とWTO体制との関連等についての一連の理論分析*等で知られる貿易理論家である。

本書は、経済理論面と貿易交渉面の両面から用語が収集されている一方、簡潔な説明の中にも、貿易理論家らしく、ところどころで理論上の要所を押さえた解説を行っていることに特徴があり、国際貿易の研究者と貿易交渉の関係者の両者にとり使える用語集となっている。

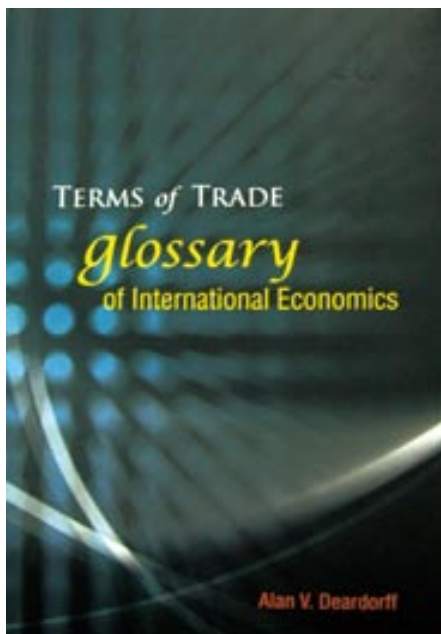
本書は、(1)貿易用語、(2)貿易理論の分析図、(3)テーマ別の貿易用語リストの三部から構成されている。

(1)貿易用語の部では、300ページにわたり約2500の用語について、簡潔ながら、最近におけるFTA、WTOの貿易理論等の展開も踏まえた、解説が与えられている。

用語の選定は、貿易理論上の基本概念、基本モデル、実証結果に加え、FTA協定、ガット条文、WTO交渉

ラウンド、貿易紛争など多岐にわたっており、WTO交渉関係を例にとれば、モダリティ、グリーンルーム、ケアンズグループ、G・10、G・20など、国際貿易交渉の動きを理解する上で大事な用語もカバーされており、国際

ラウンド、貿易紛争など多岐にわたられる8類型(エッジワースの生産ボックス、統合された世界経済の図、IS・LM・BP図、ラーナー図、オファー曲線図、特定要素モデル、関税の部分均衡、貿易と転換曲線)の分析図が簡潔な解説とともに収めら



貿易の理論、WTO・FTA交渉についての文献、事務局文書、記事等を読む時にも参照できる辞書となっている。

(2)貿易理論の分析図の部では、約50ページにわたり、国際貿易理論で使

われている。

(3)テーマ別の貿易用語リストの部では、(1)の用語が、次のようなテーマ別に分類されており、テーマごとの用語を読んで簡潔な知識を得ることができるとなっている。

・貿易保護の様々な議論、国際商品協定、貿易の経済効果・実証結果、フラグメンテーション、主要なガット条文、貿易指標、貿易モデル、非関税障壁、貿易理論上の逆説、FTA協定、分析手法、理論命題、貿易紛争、ガット・WTO交渉ラウンド、国連機関、米国政府機関等

本書は、国際貿易の研究者、WTO、FTA等の貿易交渉に関心を有する一般読者などにとり、貿易理論の立場を踏まえた、極めてコンパクトな知識を手取り早く提供するsuccinctな用語集になっていると思う。

* 例えに Deardorff, Alan V. and Robert M. Stern (1994), "Multinational Trade Negotiations and Preferential Trading Arrangements", in Deardorff, Alan V. and Robert M. Stern eds. Analytical and Negotiating Issues in Global Trading System, University of Michigan Press.